

C0. Introduction

C0.1

(C0.1) Give a general description and introduction to your organization.

当社グループは、自動車用の手動変速装置関連事業および自動変速装置関連事業の製造販売を主な事業内容とし、さらにそれらの事業に係る各種サービス活動を展開しております。

C0.2

(C0.2) State the start and end date of the year for which you are reporting data.

	Start date	End date	Indicate if you are providing emissions data for past reporting years	Select the number of past reporting years you will be providing emissions data for
Row 1	April 1 2018	March 31 2019	No	<Not Applicable>

C0.3

(C0.3) Select the countries/regions for which you will be supplying data.

- China
- Hungary
- India
- Indonesia
- Japan
- Malaysia
- Mexico
- Thailand
- United States of America
- Viet Nam

C0.4

(C0.4) Select the currency used for all financial information disclosed throughout your response.

- JPY

C0.5

(C0.5) Select the option that describes the reporting boundary for which climate-related impacts on your business are being reported. Note that this option should align with your consolidation approach to your Scope 1 and Scope 2 greenhouse gas inventory.

- Financial control

C1. Governance

C1.1

(C1.1) Is there board-level oversight of climate-related issues within your organization?

- Yes

C1.1a

(C1.1a) Identify the position(s) (do not include any names) of the individual(s) on the board with responsibility for climate-related issues.

Position of individual(s)	Please explain
Director on board	役職：全社環境統括責任者 1. 位置づけ・取締役・環境保全活動推進の最高責任者・環境保全活動推進の最高審議機関「EGC委員会」の議長 2. 責任の内容・実務トップ。環境目標の設定、計画の進捗、法順守状況の管理（毎月）環境に関連する全社の「リスクと機会」を決定する環境マネジメントシステムの有効性、妥当性を判断・環境事務局より環境目標の進捗報告（毎月）、マネジメントレビューでのインプット項目について報告（半年に1回）を受ける・入手した必要な情報について判断を行い、重大さに応じ、取締役会、経営会議、EGC委員会で議題提出する・経営層（取締役）と執行役員の立場から、全社の環境活動の方針を定め、環境事務局へ取締役会、企業の戦略の情報から想定しうる「リスクと機会」の情報など適切な情報を与え、指示を行う・気候変動問題を含む環境情報の外部公開を判断
Board-level committee	EGC委員会について 1. 委員会の位置づけ・EGC委員会は当社の全社の環境保全活動を審議推進する最高機関。ISO14001の仕組みにて規定。・構成メンバーはCEO、全社環境統括管理者、全社環境担当責任者、執行役員、監査役からなる。・取締役会のうち主要メンバーである社内取締役全員が含まれているため、取締役会に非常に近い側面を持つ 2. 責任の内容・EGC委員会は当社グループの環境マネジメントのため次の4項について審議を行う。 1) 環境目標、 2) 事業上のリスク及び機会 3) 周囲の状況や社会環境、利害関係者の要求の変化 4) その他都度提出された議題 ※気候関連問題は環境マネジメントシステムにて解決すべき課題の一つとして、削減目標を定め、その進捗を管理、対策を実施している。 3. モニタリング方法・EGC委員会：半年に1回開催

C1.1b

(C1.1b) Provide further details on the board's oversight of climate-related issues.

Frequency with which climate-related issues are a scheduled agenda item	Governance mechanisms into which climate-related issues are integrated	Please explain
Scheduled – some meetings	Reviewing and guiding risk management policies Monitoring implementation and performance of objectives Overseeing major capital expenditures, acquisitions and divestitures Monitoring and overseeing progress against goals and targets for addressing climate-related issues	・気候変動関連に対処するための目標と進捗 CO2など指標については毎月の取締役会の報告事項となっている CO2など目標値の見直しや目標の設定については、原則 社内取締役全メンバーの出席するEGC委員会内（C1.2にて回答）での議題となることが多い・リスク管理方針の審査と指導 自然災害対策等BCM関連項目については、適時議題となっている

C1.2

(C1.2) Provide the highest management-level position(s) or committee(s) with responsibility for climate-related issues.

Name of the position(s) and/or committee(s)	Responsibility	Frequency of reporting to the board on climate-related issues
Other C-Suite Officer, please specify (全社環境統括責任者（取締役）役割についてはC1.1aを参照下さい)	Both assessing and managing climate-related risks and opportunities	More frequently than quarterly
Other committee, please specify (EGC委員会：当社の全社の環境保全活動を審議推進する最高機関。ISO14001の仕組みにて規定。構成メンバーはCEO、全社環境統括管理者(取締役)、全社環境担当責任者(執行役員)、その他執行役員、監査役からなり、当社の取締役会の社内取締役が全て含まれている 詳細はC1.1aを参照して下さい)	Both assessing and managing climate-related risks and opportunities	As important matters arise

C1.2a

(C1.2a) Describe where in the organizational structure this/these position(s) and/or committees lie, what their associated responsibilities are, and how climate-related issues are monitored (do not include the names of individuals).

当社の特徴として、社内取締役は執行役を兼務しているため、

体制としてはC1.1aの通りとなる。

当社の製品群は1つの分野に特化しているため、製造拠点毎のリスクは立地による

ものを除くと共通しており、主だった気候変動に関するリスクは次の3つとなる

- ①自然災害による物理リスク
- ②製品需要に関する移行リスク
- ③炭素税等の環境規制や顧客、投資家要求に対応するための移行リスク

①②に関しては気候変動問題以外も取り扱う取締役会や上位経営会議で取り扱われる

②の一部と③についてはC1.1aで述べた気候変動問題に関する体制で取り扱っている

複数のプロセスが存在して個々に評価を行っていることから

そこで経営層と環境事務局がシンプルに共通認識を持ち気候変動問題に対処するための工夫として

全社環境統括責任者にすべての情報を集約し、最終判断を行う仕組みを採用している

CEOは取締役の中から全社環境統括責任者を選任する

また、CEOを含めた他の取締役、執行役員と情報の共有を行うため

EGC委員会という全社の環境保全活動を審議、推進する最高機関を設けている

EGC委員会メンバーについては、その多くが各製造拠点（子会社）の経営層を兼任しているため、

各製造拠点のマネジメントに全社の方針を徹底させることが可能になっている。

全社環境統括責任者およびEGC委員会の詳細についてはC1.1aの回答を再掲載する

全社環境統括責任者

1．位置づけ

- ・取締役
- ・環境保全活動推進の最高責任者
- ・環境保全活動推進の最高審議機関 「EGC委員会」の議長

2．責任の内容

- ・実務トップ。
 - 環境目標の設定、計画の進捗、法遵守状況の管理（毎月）
 - 環境に関連する全社の「リスクと機会」を決定する
 - 環境マネジメントシステムの有効性、妥当性を判断
- ・環境事務局より環境目標の進捗報告（毎月）、マネジメントレビューでのインプット項目について報告（半年に1回）を受ける
- ・入手した必要な情報について判断を行い、重大さに応じ、取締役会、経営会議、EGC委員会で議題提出する
- ・経営層（取締役）と執行役員の立場から、全社の環境活動の方針を定め、
 - 環境事務局へ取締役会、企業の戦略の情報から想定しうる「リスクと機会」の情報など適切な情報を与え、指示を行う
- ・気候変動問題を含む環境情報の外部公開を判断

EGC委員会

1．委員会の位置づけ

- ・EGC委員会は当社の全社の環境保全活動を審議推進する最高機関。ISO14001の仕組みにて規定。
- ・構成メンバーはCEO、全社環境統括管理者、全社環境担当責任者、執行役員、監査役からなる。
- ・取締役会のうち主要メンバーである社内取締役全員が含まれているため、取締役会に非常に近い側面を持つ

2．責任の内容

・EGC委員会は当社グループの環境マネジメントのため次の4項について審議を行う。

- 1) 環境目標、
- 2) 事業上のリスク及び機会
- 3) 周囲の状況や社会環境、利害関係者の要求の変化
- 4) その他都度提出された議題

※気候関連問題は環境マネジメントシステムにて解決すべき課題の一つとして、削減目標を定め、その進捗を管理、対策を実施している。

3. モニタリング方法

・EGC委員会：半年に1回開催

C1.3

(C1.3) Do you provide incentives for the management of climate-related issues, including the attainment of targets?

Yes

C1.3a

(C1.3a) Provide further details on the incentives provided for the management of climate-related issues (do not include the names of individuals).

Who is entitled to benefit from these incentives?

All employees

Types of incentives

Recognition (non-monetary)

Activity incentivized

Efficiency project

Comment

年に一度の創立記念式典にて、業務の効率UPや3S、企業の知名度アップなど分野の限定しない表彰制度を設けている。生物多様性活動や水の使用量削減活動などでは表彰を受けた事例がある。

C2. Risks and opportunities

C2.1

(C2.1) Describe what your organization considers to be short-, medium- and long-term horizons.

	From (years)	To (years)	Comment
Short-term	0	3	
Medium-term	3	10	
Long-term	10	30	

C2.2

(C2.2) Select the option that best describes how your organization's processes for identifying, assessing, and managing climate-related issues are integrated into your overall risk management.

A specific climate change risk identification, assessment, and management process

C2.2a

(C2.2a) Select the options that best describe your organization's frequency and time horizon for identifying and assessing climate-related risks.

	Frequency of monitoring	How far into the future are risks considered?	Comment
Row 1	Six-monthly or more frequently	>6 years	モニタリング間隔が最長のもの（EGC委員会）は半年に1度開催している。

C2.2b

(C2.2b) Provide further details on your organization's process(es) for identifying and assessing climate-related risks.

< 1 . 会社レベルで気候関連リスクを特定し、評価する方法(評判リスクなど) >

- ・自動車業界への規制動向、売上動向、環境法令動向、気候変動による移行リスクなど
当社を取り巻く状況について、それぞれの事務局が定められた期間の間隔で情報収集を行っている。緊急を要する情報についてはすぐさま取締役へ報告を行う
- ・通常の情報については半年に一度の取締役と環境事務局でマネジメントレビューに先立つ意見交換会の中で情報の共有を行う。当社の特徴として、環境担当の最高責任者に取締役を設定していることで資産レベルでの気候関連リスク（各製造拠点）を取締役を通して環境事務局が入手できる体制を構築している。以降上記の取締役を「全社環境統括責任者」と記載する
- ・評価方法については下記の資産レベルでの「気候変動関連リスクの特定・評価方法」でまとめて述べる

< 2 . 資産レベルで気候関連リスクを特定し、評価する方法（資産レベルで気候関連リスクを特定し、評価する方法

(例えば、物理的影響が個々の施設に影響を及ぼす可能性があります)

資産レベルは、個々の現場や子会社などの会社レベルより下位のもので定義されること>

- ・各製造拠点毎の気候変動リスク（例えば水害等のハザード情報）については、ハザードマップ等を元に各拠点毎に情報を収集する。
- ・朝会と呼ばれる取締役常務執行役員以上で毎朝開催される会議の中で、前日までの悪い情報を全て共有し、短時間で対応方針を決定する仕組みがあり、リスクとして特定するかを判断する
※当社の特徴として、一部の社外取締役を除く全ての取締役は社長を含む執行役員であるため、上位の経営会議はほぼ取締役会と同じメンバーで構成されており、取締役会と近い経営判断が可能である
- ・特定したされたリスクの評価は、人命への影響、生産（操業）へ影響、財務上の支出（損害額、修理額）の規模に応じた会議体（取締役会、リスク管理委員会、BCM、EGC委員会等 注記：全ての会議メンバーは取締役を含む）にて、それぞれの定めた規定を基に影響を評価する。

< 3 . 特定したリスクの潜在的な大きさと範囲を評価するために実施しているプロセス>

- ・シンクタンクの情報やIEA World Outlook等のシナリオを基に、2030年、2040年、2050年を想定して大きくは2度目標の気候変動への移行が進む未来と、現状の成り行きのまま、進む未来を仮定して影響量の評価を行っている

< 4 . 御社が他のリスクとの関連で気候関連リスクの相対的重要性を決定するプロセス>

当社の考え方で、「安全・環境⇒品質⇒納期⇒コスト」という考え方があり、この順番を最優先と考え、取組むことが最終的にもっともコストが下がるとの考え方である。

< 5 . 使用されるリスク用語の定義>

特別な専門用語は使用していません。

< 6 . 御社が、事業に及び財務または戦略面での重大影響を定義する方法>

重大影響については一部定性的ではあるが、

- ①人命にかかわる可能性があるか、
- ②当社の製品がその時代のニーズから適応しない可能性があるか、
(生産に法的制約が加わるなど)、
- ③5日以上生産停滞/操業停止を引き起こす可能性があるか、
- ④一定以上のコストを発生させる可能性があるものを

重要と定義している

C2.2c

(C2.2c) Which of the following risk types are considered in your organization's climate-related risk assessments?

	Relevance & inclusion	Please explain
Current regulation	Relevant, always included	<リスクの事例> 省エネ法による公開制度 <気候関連リスク評価> 低い ⇒ 省エネ法の現行の求める原単位平均-1%/年の改善については通常の改善、設備の導入等に対応可能レベル
Emerging regulation	Relevant, always included	<リスクの事例> 各国のガソリン、ディーゼル車の新規上市禁止化/炭素税により、燃料費が高騰し、自動車離れが進む <気候関連リスク評価> 高い ⇒ 主要製品の売上に直結するリスク
Technology	Relevant, always included	<リスクの事例> 電気自動車のバッテリーや水素自動車に関する技術、インフラの普及により脱石油燃料車化がさらに加速する <気候関連リスク評価> 高い ⇒ 主要製品の売上に直結するリスク
Legal	Not relevant, explanation provided	当社の製品・サービスはCO2を減らすことを目的とした製品であり、当社はカーボンメジャー、石油メジャー、発電業、投資家でないこと。また、過去からCO2排出量に関しては情報開示を推進しており、情報開示不足による気候関連の訴訟の可能性は少ないと考える。
Market	Relevant, always included	<リスクの事例> 「カーシェアリング」の成長、自動車所有パターンの変化に伴う製品需要減少 <気候関連リスク評価> 中 ⇒ 主要製品の売上に直結するリスクではあるが、緩やかな変化と考える
Reputation	Relevant, always included	<リスクの事例> 当社は石油燃料関連製品に依存している会社の印象が強い。 <気候関連リスク評価> 高い ⇒ 2°Cシナリオの未来にてレジリエンスを示した情報開示が求められる
Acute physical	Relevant, always included	<リスクの事例> 洪水による浸水、操業停止台風の激化 <気候関連リスク評価> 高い ⇒ 一部で操業に高リスクな拠点がある
Chronic physical	Relevant, always included	<リスクの事例> 空調費用の高騰、空調施設導入費用 <気候関連リスク評価> 高い ⇒ 地域によっては現在の設備では労働者の安全上、大幅改善、設備導入無しでは操業できない可能性がある
Upstream	Relevant, sometimes included	<リスクの事例> 洪水による浸水、操業停止台風の激化 <気候関連リスク評価> 高い ⇒ サプライチェーン断絶の可能性はある
Downstream	Relevant, always included	<リスクの事例> 各種規制、顧客のニーズの変更により、当社の主力製品の需要が減少。台風等の災害による顧客のバリューチェーン断絶による受注減 <気候関連リスク評価> 高い ⇒ 主要製品の売上に直結するリスク

C2.2d

(C2.2d) Describe your process(es) for managing climate-related risks and opportunities.

C2.2cで特定された重要なリスクを一例に特定プロセスの適用、リスクの特定、リスクへの対処について

記載する

《移行リスクの事例》

< 1 . リスクの概要>

- ・ 将来の規制/技術/市場/下流

自動車のEV化による当社主力製品の市場ニーズの/売上減少

< 2 . 特定のプロセス>

自動車業界の将来動向といった大きな情報についてはシンクタンクを用いて市場予測の情報収集し
取締役会での経営判断に利用している。

また、気候変動関連に限定すると、全社環境事務局は次の事項の変化について
情報収集を行い、全社環境統括責任者との意見交換会にて、情報の共有を図り、
必要な情報が経営層へ吸い上げられる仕組みをとっている。

- ①省エネ法や炭素税といった気候変動に関わる規制
- ②グリーン調達ガイドラインや気候変動に関する情報開示などの顧客要求
- ③投資家の情報公開要求
- ④自動車部品工業会の自主行動計画
- ⑤IEA WEOや2 i i などの気候変動に関する最新の情報やシナリオ情報

<3 . リスクの特定>

重大なリスクとして特定している

(取締役会でのリスクの評価を基に、全社環境統括責任者が特定するかを判断する)

<4 . リスクへの対処>

自動車のEV化については大きく分けると2つの対応となる。

- ①気候変動への規制が進まず、現状の成り行き未来に
対しては、現状の製品に対して、より省エネになる製品^{リユア}の充実を
実施している。

- ②同時に他事業への移転としては、
当社の製品の特徴が「回転エネルギー伝達時の効率を高める」機能を持つことから、
動力伝達時のサポート機能をもつ製品の拡充を進めている

《物理リスクの事例》

<1 . リスクの概要>

- 緊急性リスク
- 洪水による浸水、操業停止リスク

<2 . 特定のプロセス>

物理リスク(特に水害)については各製造拠点毎に特定、評価を行っている。
もっともオーソドックスな手段としては、ハザードマップ、過去の水害事例等を
活用している。また、Aqueduct Water Riskも評価ツールとして併用している

<3 . リスクの特定>

重大なリスクとして特定している

(取締役会でのリスクの評価を基に、全社環境統括責任者が特定するかを判断する)

生産拠点Aは日本を代表する流域面積（全面積の3%）、流域人口(全国7位)をもつ一級河川の本流の、中流域に位置している。河川整備計画によると人口の集中する下流の治水安全度を確保するために、上中流が氾濫していることが前提となっており、氾濫のおきる確率規模は20年に1度となっている。（戦後最大の洪水 昭和28年台風13号想定）

さらに当該拠点は本流と支流に囲まれた中洲に位置しており、巨大豪雨等で河川が氾濫した場合には支流の樋門を閉じること、上流でのダムの放流の可能性があることで知られている。（決壊を防ぐため、行政による排水ポンプ車で樋門越しに排水を本流に逃がす仕組みあり）

<4. リスクへの対処>

生産拠点移転計画中

C2.3

(C2.3) Have you identified any inherent climate-related risks with the potential to have a substantive financial or strategic impact on your business?

Yes

C2.3a

(C2.3a) Provide details of risks identified with the potential to have a substantive financial or strategic impact on your business.

Identifier

Risk 1

Where in the value chain does the risk driver occur?

Customer

Risk type

Transition risk

Primary climate-related risk driver

Policy and legal: Mandates on and regulation of existing products and services

Type of financial impact

Increased costs and/or reduced demand for products and services resulting from fines and judgments

Company- specific description

当社の主力製品は自動車の駆動系部品である。ガソリン、ディーゼル自動車向けの部品が全売上の88.4%（2018年度連結売上比率）に相当している。ガソリン・ディーゼル車への新車上市禁止等の規制や電気自動車への移行、燃料費の高騰により、世界のガソリン・ディーゼル車の販売台数が減ると当社製品の市場が急激に狭まることが予想される

Time horizon

Long-term

Likelihood

Unlikely

Magnitude of impact

High

Are you able to provide a potential financial impact figure?

Yes, a single figure estimate

Potential financial impact figure (currency)

224638200000

Potential financial impact figure – minimum (currency)

<Not Applicable>

Potential financial impact figure – maximum (currency)

<Not Applicable>

Explanation of financial impact figure

2iiシナリオ（2ii & The CO-Firm "The Transition Riskometer 2017"）によると気候変動への移行が2°C目標で進んだ場合、2050年のガソリン・ディーゼル車の売上高は現行の90%減となるとのシナリオがある。算出は 2018年連結売上高（2823.98億）×自動車等の売上比率（88.4%）×90%で算出を実施

Management method

このリスクに対応するためには、リスクの移転として、“他事業への移転”が必要と考える。当社の製品の特徴が「回転エネルギー伝達時の効率を高める」機能を持つことから、動力伝達時のサポート機能をもつ新製品の開発を進めている。リスクそのものの管理としては、規制動向の把握、最新シナリオの入手等を実施している。新製品

開発費については情報開示ができないため、管理費用は規制の動向の把握（セミナー、WS等）、最新シナリオの入手等、付随する人件費(1名)にかかる費用で算出する。

Cost of management

789936

Comment

Identifier

Risk 2

Where in the value chain does the risk driver occur?

Direct operations

Risk type

Physical risk

Primary climate-related risk driver

Acute: Increased severity of extreme weather events such as cyclones and floods

Type of financial impact

Reduced revenue from decreased production capacity (e.g., transport difficulties, supply chain interruptions)

Company- specific description

生産拠点Aは日本を代表する流域面積（全面積の3%）、流域人口(全国7位)をもつ一級河川の本流の中流域に位置している。河川整備計画によると人口の集中する下流の治水安全度を確保するために、上中流が氾濫していることが前提となっており、氾濫のおきる確率規模は20年に1度となっている。（戦後最大の洪水 昭和28年台風13号想定）さらに当該拠点は本流と支流に囲まれた中洲に位置しており、巨大豪雨等で河川が氾濫した場合には支流の樋門を閉じること、上流でのダムの放流の可能性があるので知られている。（決壊を防ぐため、行政による排水ポンプ車で樋門越しに排水を本流に逃がす仕組みあり）

Time horizon

Medium-term

Likelihood

Virtually certain

Magnitude of impact

High

Are you able to provide a potential financial impact figure?

Yes, a single figure estimate

Potential financial impact figure (currency)

412398904

Potential financial impact figure – minimum (currency)

<Not Applicable>

Potential financial impact figure – maximum (currency)

<Not Applicable>

Explanation of financial impact figure

影響として、生産拠点の復興にかかる費用と、部品の共有がとまることにより、当社の生産がとまることの二つが上げられる。生産拠点の復興にかかる費用について情報公開ができないため、ここでは一部の部品調達にとまることにより当社の生産全体がとまる費用として算出する。2018年度単体売上（1254.38億）×当該拠点の製品分野売上(24%)×操業停止期間BCP目標5日（5/365）

Management method

このリスクに対応するためには、リスクの移転として、“生産拠点移転”を進めている。リスクそのものの管理としては、緊急事態の対応訓練として、土嚢等の設置訓練を実施している。生産拠点移転については情報開示ができないため、管理費用は該当生産拠点の一年間の緊急訓練に係わる人件費で算出。2年に一回、30分、全従業員

Cost of management

13590

Comment

Identifier

Risk 3

Where in the value chain does the risk driver occur?

Direct operations

Risk type

Transition risk

Primary climate-related risk driver

Policy and legal: Increased pricing of GHG emissions

Type of financial impact

Increased operating costs (e.g., higher compliance costs, increased insurance premiums)

Company- specific description

当社は自動車の部品製造業であり、最終製品ではないため、法規則に加え、顧客の要求、業界団体要求の変化が最大の関心である。顧客の多くが、2050年時点での工場CO2ゼロチャレンジ等を計画している 現状・省エネ法や業界団体のCO2削減の行動計画：平均で-1%/年の削減要請・主要な顧客：グリーン調達ガイドラインにて、製造時におけるCO2排出削減の取り組みを要請 一部の顧客についてはCDPや独自の調査方法を用いて、CO2排出やその他の項目について、目標、進捗管理、対策といった情報開示を求めている。しかし原則的に定性的な要請である。・当社では太陽光発電や風力発電を導入しているものの、昨年度の実績ベースでは自然エネルギーは総電力使用量の約1%程度。 < 2050年等で低炭素社会へ劇的に移行した未来 > ・当社は売上のほとんどがB to Bのため、顧客調達要件にRE100の取得やCO2排出量実質ゼロ等の制約が加わった場合、当社は排出権購入を迫られる可能性が高い

Time horizon

Long-term

Likelihood

Unlikely

Magnitude of impact

High

Are you able to provide a potential financial impact figure?

Yes, an estimated range

Potential financial impact figure (currency)

<Not Applicable>

Potential financial impact figure – minimum (currency)

997916319

Potential financial impact figure – maximum (currency)

3326387730

Explanation of financial impact figure

2018年度のCO2総排出量を2iiシナリオ (2ii & The CO-Firm "The Transition Risk O meter2017)の2030年度のUSAでの炭素価格を基に算出する。 1 . 2018年度総排出量 272,543.03 t - CO2 2 . 2030年でのACTシナリオでのCO2価格 : 100US\$/ t -CO2eq LCT シナリオでのCO2価格 : 30US\$/ t -CO2eq ※ 2015年のUS\$ 3.2015年年間平均 122.05円/US\$ より算出

Management method

リスクそのものの管理としては、規制動向の把握、最新シナリオの入手等を実施している。管理費用は規制の動向の把握 (セミナー、WS等)、最新シナリオの入手等、付随する人件費(1名)にかかる費用で算出する。

Cost of management

789936

Comment

C2.4

(C2.4) Have you identified any climate-related opportunities with the potential to have a substantive financial or strategic impact on your business?

Yes

C2.4a

(C2.4a) Provide details of opportunities identified with the potential to have a substantive financial or strategic impact on your business.**Identifier**

Opp1

Where in the value chain does the opportunity occur?

Customer

Opportunity type

Products and services

Primary climate-related opportunity driver

Development and/or expansion of low emission goods and services

Type of financial impact

Increased revenue through demand for lower emissions products and services

Company-specific description

当社の製品は全て、エネルギーをより効率的に伝達するかがキーとなる製品である。(自動車のエンジンではより燃費を良くするにはエンジンを低回転で動力伝達する必要があるが、その際に振動が激しくなる。当社の製品はこの振動を抑えて動力伝達することでエンジンを低エネルギーで回転することを助ける機能を備えている。) ガソリン、ディーゼル車への規制が各国で2040年に向けて厳しくなる一方で、規制時期の直前には中期的な需要増が見込むことが可能と考えている

Time horizon

Medium-term

Likelihood

Virtually certain

Magnitude of impact

High

Are you able to provide a potential financial impact figure?

No, we do not have this figure

Potential financial impact figure (currency)

<Not Applicable>

Potential financial impact figure – minimum (currency)

<Not Applicable>

Potential financial impact figure – maximum (currency)

<Not Applicable>

Explanation of financial impact figure

回答できません

Strategy to realize opportunity

自動車業界は電動化や自動運転を技術革新のただ中にあり、また既存事業においても競争の激化等が予測され、事業を取り巻く環境は一段と厳しさを増している。このような中でも利益を確保できる体質に進化するために「ルール遵守によるグローバル安全及び品質保証」「工程内不良は1個で止める」「未来商品・次世代商品開発」「コスト競争力強化」「グループ経営基盤強化」「グローバル人材の育成、ダイバーシティ、働き方改革推進」「環境負荷物質削減」といった課題にグループ総力を挙げて取り組みを行う。トルクコンバータ、オートマチックトランスミッション部品など自動車向け自動変則装置関連事業では中期的な需要増を見据えた製品の安定供給体制を構築するとともに、低収益製品の採算性改善を進める。また自動車の燃費向上と電動化への対応として、次世代商品開発に取組む。

Cost to realize opportunity

29500000000

Comment

2018年度の連結設備投資総額：295 億円

Identifier

Opp2

Where in the value chain does the opportunity occur?

Customer

Opportunity type

Resilience

Primary climate-related opportunity driver

Participation in renewable energy programs and adoption of energy-efficiency measures

Type of financial impact

Increased reliability of supply chain and ability to operate under various conditions

Company-specific description

所業なお取引様グループ23グループのうち7社5グループに対して、CDPを含め、CO2の排出量、LCAとして製品1台あたりのエネルギー、水、廃棄物等の使用量などの情報開示を実施している。製品の使用時の寄与だけでなく、太陽光発電を事業とする関連会社も所有しており、省エネ対策を進めることが、顧客におけるバリューチェーン全体のCO2削減に寄与することで当社の評判向上につなげることが可能である

Time horizon

Medium-term

Likelihood

More likely than not

Magnitude of impact

Medium

Are you able to provide a potential financial impact figure?

No, we do not have this figure

Potential financial impact figure (currency)

<Not Applicable>

Potential financial impact figure – minimum (currency)

<Not Applicable>

Potential financial impact figure – maximum (currency)

<Not Applicable>

Explanation of financial impact figure

回答できません

Strategy to realize opportunity

機会そのものの管理としては、規制動向の把握、最新シナリオの入手等を実施している。管理費用は規制の動向の把握（セミナー、WS等）、最新シナリオの入手等、付随する人件費(1名)にかかる費用で算出する。

Cost to realize opportunity

789936

Comment

Identifier

Opp3

Where in the value chain does the opportunity occur?

Direct operations

Opportunity type

Energy source

Primary climate-related opportunity driver

Use of new technologies

Type of financial impact

Returns on investment in low-emission technology

Company-specific description

当社の製造において、加熱炉や溶解炉、保持炉など、熱を発生させる設備を多く抱えている。その一方で日本だけでなく、インドなど現時点でも夏は40度を越える生産拠点が存在しており、製造ラインではさらに高温での作業が必要となっている。また同時に当社の工場の多くは工業団地の中にあり、同業他社の工場が多く存在するため、過酷な製造ラインでは人員の確保が課題となっている

Time horizon

Current

Likelihood

Virtually certain

Magnitude of impact

Medium

Are you able to provide a potential financial impact figure?

No, we do not have this figure

Potential financial impact figure (currency)

<Not Applicable>

Potential financial impact figure – minimum (currency)

<Not Applicable>

Potential financial impact figure – maximum (currency)

<Not Applicable>

Explanation of financial impact figure

回答できません。

Strategy to realize opportunity

工場の新設の際は、最新の空調設備を導入し、既存の工場については安全（人）を最優先とする考えのもとに、順次空調の最新化をはかり、生産における労働者への負荷低減を図っている

Cost to realize opportunity

29500000000

Comment

新しい設備については省エネを意識しており、2018年度の連結設備投資総額：295億円 全額とする

C.2.5**(C.2.5) Describe where and how the identified risks and opportunities have impacted your business.**

	Impact	Description
Products and services	Impacted	・当社の主力製品は自動車の駆動系部品である。ガソリン、ディーゼル自動車向けの部品が全売上の88%に相当している。これらの製品の多くが低燃費自動車の部品であり、顧客要求に合わせて日々低燃費車向けの部品の開発・提供を実施している
Supply chain and/or value chain	Impacted for some suppliers, facilities, or product lines	・集中豪雨や川の氾濫、冬では豪雪により部品の供給がとまるリスクがある
Adaptation and mitigation activities	Impacted for some suppliers, facilities, or product lines	・BCPを通して高リスクの生産施設、サプライヤーの評価及びリスク低減（止水壁の設置、溝、ポンプの設置、緊急時対応訓練の実施、拠点の移転等）を実施している
Investment in R&D	Impacted	・当社の主力製品は自動車の駆動系部品である。ガソリン、ディーゼル自動車向けの部品が全売上の88%に相当しているため既存の分野以外での製品開発・サービスの提供を実施している（例 太陽光発電、水耕野菜栽培工場など）
Operations	Impacted	・BCMおよびグリーン調達ガイドラインにて「リスクと機会」の把握及び対応を実施している
Other, please specify	We have not identified any risks or opportunities	

C.2.6**(C.2.6) Describe where and how the identified risks and opportunities have been factored into your financial planning process.**

	Relevance	Description
Revenues	Impacted	当社の主力製品は自動車の駆動系部品である。ガソリン、ディーゼル自動車向けの部品が全売上の88%に相当している。各国2040年度以降ガソリン、ディーゼル自動車の新車上市禁止や、電気自動車への移行など規制強化が進むことにより規制期間の直前でガソリン・ディーゼル自動車向け低燃費車要部品の特需が見込まれる
Operating costs	Impacted	炭素税の導入や、電気代の高騰、猛暑・極寒対策のための空調更新等インフラにかかる支出が増える
Capital expenditures / capital allocation	We have not identified any risks or opportunities	
Acquisitions and divestments	We have not identified any risks or opportunities	
Access to capital	We have not identified any risks or opportunities	
Assets	We have not identified any risks or opportunities	
Liabilities	We have not identified any risks or opportunities	
Other	We have not identified any risks or opportunities	

C3. Business Strategy

C3.1

(C3.1) Are climate-related issues integrated into your business strategy?

Yes

C3.1a

(C3.1a) Does your organization use climate-related scenario analysis to inform your business strategy?

Yes, qualitative and quantitative

C3.1c

(C3.1c) Explain how climate-related issues are integrated into your business objectives and strategy.

<i>.事業目標と戦略が気候関連課題による影響をどのように受けたかの企業固有の説明</i>

●製品について

製品面では2018年度ベースでは88.4%が自動車向けの部品となっており、その多くがガソリン等の燃料を用いる車両用である。ガソリン、ディーゼル車への製造禁止等の規制や緩やかではあるが、日本の炭素税など、燃料費の高騰は製品需要に大きな影響を及ぼすことになる。同時に、2030年までは大きな影響が起きないと推測しており、また各国の規制目標年である2040年直前には逆に、ガソリン、ディーゼル車向け部品の特需が置き得ると考えている

●製造時におけるCO₂排出削減について

当社の2018年度のCO₂排出量を地域別に見ると、アジア・東南アジア84%、北米12%、南米3%、欧州1%となっている。炭素税の導入やCO₂排出にかかる国レベルの規制が比較少ないエリアに拠点があることが一つ目の特徴になっている。製品面では2018年度ベースでは88.4%が自動車向けの部品となっており、顧客のほとんどが自動車メーカーである。現時点での顧客の要求は気候関連課題への情報開示と自発的なCO₂削減に留まっているため、現状での事業目標、事業戦略への影響は小さい

●生産拠点について

一部の拠点で洪水のリスクが高く（日本、タイ）事業の継続性に影響を受けている。日本にある1拠点については、生産の安定性の観点から拠点移転を計画している。その他の拠点については、止水壁や主要な生産工程の2階への移動など

●太陽光発電事業

グループ内に太陽光発電設置を行う子会社を設立し、当グループ内生産拠点の太陽光発電の設置、メガソーラを設置している。買い取り価格の減少は大きな影響を受けている

<ii.御社の事業戦略が排出削減目標またはエネルギー削減目標に結び付いているかの説明>

●製品について

製品については、当社の製品は100%省エネを目標としていること。

また、顧客製品に組み込まれることによって効果を発揮するため、独自のエネルギー削減目標は設けていない。

●製造時におけるCO2排出削減について

現時点では気候変動関連の法による排出規制、炭素税、CO2削減の顧客調達要件に占める影響が

小さいため、動向を確認しつつ、同業他社と差がつかないような体制の維持が戦略となっている。

そのため緩やかな排出削減目標を設定している。

<iii.何が戦略の気候変動主導の側面の影響を受けた報告年の間に下された

最も重大な事業決定だったか?>

●製品について

各国のガソリン、ディーゼル車規制の強化される2040年直前は、中長期的に

AT（自動変速装置関連事業）製品の需要増加を見据えている。

そのため、製品の安定供給体制の構築のため、日本、中国、メキシコ、タイで

主要設備の新設及び拡充を行っている。

また、ガソリン、ディーゼル車以外の気候変動関連問題に影響を受けない

製品群の供給体制の構築のため、日本国内での主要設備の新設を行っている。

C3.1d

(C3.1d) Provide details of your organization's use of climate-related scenario analysis.

Climate-related scenarios	Details
IEA Sustainable development scenario IEA NPS Other, please specify (2ii ACT/LCT (2ii & The CO-Firm " The Transtion Risk-O Meter"2017) の2°Cシナリオ The Transtion Risk-O Meter"2017) の2°Cシナリオ (ACT:Ambitious Climate Transition)と4°Cシナリオ (LCT:Limited Climate Transition)を採用)	<組織シナリオ分析でどのような境界と時間軸が使用されたか? > ●シナリオ分析で用いたバウンダリー 原則的に全てのバウンダリー、製品の一部については自動車向け部品（2018年度ベース売上88.4%相当）●シナリオ分析で用いた時間軸 2030年、2040年、一部で2050年を採用している 2030年は、2°Cシナリオ、4°Cシナリオともに大きな差が出ない年として採用する。2040年は、2°Cシナリオ、4°Cシナリオでの差が顕著になり始める年であり、各国のガソリン、ディーゼル車規制の開始時期として採用する 2050年は、各国のガソリン、ディーゼル車規制が定着し、その影響が当社製品の売上に大きく出る年として採用する <使用された方法の詳細 > ●シナリオの概要 2ii 2ii ACT/LCT (2ii & The CO-Firm " The Transtion Risk-O Meter"2017) の2°Cシナリオ (ACT:Ambitious Climate Transition)と4°Cシナリオ (LCT:Limited Climate Transition)を採用 2°C投資イニシアティブによる、TCFDへの対応を行う企業へ向けた移行リスクシナリオで 企業が財務リスクやシナリオ分析を実施する際に参照できるような、TCFDの要請に沿った移行リスクシナリオを提示している。(2°C世界を想定したACT(ambitious climate transition)及び3-4°CのLCT(limited climate transition)) 自動車業界などエネルギー消費のセクターごとの重要パラメーターを設定し、IEAなど既存シナリオを基にパラメーターの在り方を想定されている ●シナリオ分析で使用した方法の詳細 次の項目について分析を実施した ①ガソリン、ディーゼル車両販売台数 2iiの2050年シナリオでは、ACTでは現状の90%減、LCTでは現状と同等と仮定されている ●インパクトの算出 ガソリン、ディーゼル車両の売上率は2018年度実績で88.4%のため、手を打たない場合、ACTのシナリオでは 現状売上高の18.8%まで減少する可能性がある。LCTの場合は同等 ②カーボン単価の上昇による、買取費用の上昇 2iiシナリオでは、米国内のカーボン単価は1T-CO2eqあたり、2015年US\$換算で ACTシナリオでは2030年100 \$、2040年140 \$、LCTシナリオでは2030年30 \$、2040年40 \$と予想されている ●インパクトの算出 CO2排出量の全量買取りが顧客の調達要求となる状況を仮定すると、2018年度と同等の排出が見込まれる場合 ACTシナリオでは2030年33億円（営業利益の17%相当）、2040年46.6億円、LCTシナリオでは2030年8.6億円、2040年11.5億円と予想されており、無視のできないインパクトがある ③電力料金の高騰 2iiシナリオでは、米国内の電力料金は1MWhあたり、2015年EUR換算で 2020年ACTで79EUR、LCTで98EUR、この電力料金が 2030年ACTで83EUR、LCTで102EUR、2040年ACTで88EUR、LCTで106EUR になると予想されている ●インパクトの算出 電力を2018年度と同等に使用した場合、2020年度比の電気代負担増量は ACTシナリオでは2030年2.4億円、2040年5.5億円、LCTシナリオでは2030年4.9億円、2040年4.9億円と予想されており、中程度のインパクトがある

C4. Targets and performance

C4.1

(C4.1) Did you have an emissions target that was active in the reporting year?

Intensity target

C4.1b

(C4.1b) Provide details of your emissions intensity target(s) and progress made against those target(s).

Target reference number

Int 1

Scope

Scope 1 +2 (market-based)

% emissions in Scope

99.99

Targeted % reduction from base year

100

Metric

Metric tons CO2e per unit revenue

原単位の単位はt-CO2/億円 (売上高)

Base year

2018

Start year

2019

Normalized base year emissions covered by target (metric tons CO2e)

9.9

Target year

2019

Is this a science-based target?

No, but we anticipate setting one in the next 2 years

% of target achieved

100

Target status

New

Please explain

一部の拠点では5か年計画を行っているが、当社グループとしては目標設定を1年毎に実施している。期間満了に伴い、同目標を継続して設定を実施している。2019年度の排出目標は売上高原単位で98.0t-CO2/億円である（前年度比マイナス1%）売上高目標 2,900億円 排出量目標 277,080.95 t - CO2 上記回答の『目標の対象となる基準年排出原単位数値（tCO2e）』の原単位数は10億円

% change anticipated in absolute Scope 1+2 emissions

1.7

% change anticipated in absolute Scope 3 emissions

0

C4.2

(C4.2) Provide details of other key climate-related targets not already reported in question C4.1a/b.

C4.3

(C4.3) Did you have emissions reduction initiatives that were active within the reporting year? Note that this can include those in the planning and/or implementation phases.

Yes

C4.3a

(C4.3a) Identify the total number of initiatives at each stage of development, and for those in the implementation stages, the estimated CO2e savings.

	Number of initiatives	Total estimated annual CO2e savings in metric tonnes CO2e (only for rows marked *)
Under investigation	0	0
To be implemented*	0	0
Implementation commenced*	0	0
Implemented*	5	1380.56
Not to be implemented	0	0

C4.3b

(C4.3b) Provide details on the initiatives implemented in the reporting year in the table below.

Initiative type

Energy efficiency: Building services

Description of initiative

Lighting

Estimated annual CO2e savings (metric tonnes CO2e)

449.5

Scope

Scope 2 (location-based)

Voluntary/Mandatory

Voluntary

Annual monetary savings (unit currency – as specified in C0.4)

8252379

Investment required (unit currency – as specified in C0.4)

50469590

Payback period

4 - 10 years

Estimated lifetime of the initiative

6-10 years

Comment

LED化、高効率照明への変更

Initiative type

Energy efficiency: Processes

Description of initiative

Machine replacement

Estimated annual CO2e savings (metric tonnes CO2e)

410.25

Scope

Scope 2 (location-based)

Voluntary/Mandatory

Voluntary

Annual monetary savings (unit currency – as specified in C0.4)

11083781

Investment required (unit currency – as specified in C0.4)

51631276

Payback period

4 - 10 years

Estimated lifetime of the initiative

>30 years

Comment

サブ変電所、キュービクル等の電気供給設備の更新

Initiative type

Energy efficiency: Processes

Description of initiative

Compressed air

Estimated annual CO2e savings (metric tonnes CO2e)

289.67

Scope

Scope 2 (location-based)

Voluntary/Mandatory

Voluntary

Annual monetary savings (unit currency – as specified in C0.4)

6114426

Investment required (unit currency – as specified in C0.4)

0

Payback period

<1 year

Estimated lifetime of the initiative

3-5 years

Comment

工場用の圧縮エアの設定圧変更によるCO2削減

Initiative type

Process emissions reductions

Description of initiative

New equipment

Estimated annual CO2e savings (metric tonnes CO2e)

55.96

Scope

Scope 2 (location-based)

Voluntary/Mandatory

Voluntary

Annual monetary savings (unit currency – as specified in C0.4)

1381383

Investment required (unit currency – as specified in C0.4)

1381383

Payback period

<1 year

Estimated lifetime of the initiative

6-10 years

Comment

空調設備の高効率設備への更新

Initiative type

Process emissions reductions

Description of initiative

Changes in operations

Estimated annual CO2e savings (metric tonnes CO2e)

175.19

Scope

Scope 2 (location-based)

Voluntary/Mandatory

Voluntary

Annual monetary savings (unit currency – as specified in C0.4)

3905101

Investment required (unit currency – as specified in C0.4)

1781410

Payback period

<1 year

Estimated lifetime of the initiative

3-5 years

Comment

複数の活動の総和。電気炉の設定温度、運転サイクル、待機温度の見なおし

C4.3c**(C4.3c) What methods do you use to drive investment in emissions reduction activities?**

Method	Comment
Dedicated budget for low-carbon product R&D	当社の製品は全て、低炭素化（省エネ）に特化した製品である。SDG s の気候変動の目標を達成しうる商品には未来の市場があるとの認識で先行投資を行っている
Dedicated budget for energy efficiency	回収期間の短い案件を優先に実施している

C4.5**(C4.5) Do you classify any of your existing goods and/or services as low-carbon products or do they enable a third party to avoid GHG emissions?**

Yes

C4.5a

(C4.5a) Provide details of your products and/or services that you classify as low-carbon products or that enable a third party to avoid GHG emissions.

Level of aggregation

Group of products

Description of product/Group of products

当社の製品は自動車のエンジンと変速機（トランスミッション）を繋ぐ部品である。当社独自の対策としては、部品の軽量化があるが、大きな省エネの効果は顧客の自動車に組み込まれて、効果を発揮するものである。・主力製品であるAT車向けのトルクコンバーターはエンジンの力を増幅させながらスムーズに動力を変速機に伝える部品である。・油を介して動力伝達を行うため、伝達ロスが課題となる。伝達ロスを防ぐためにはロックアップという、エンジンと変速機を直結させることが必要になるが省エネ状態（低速）で直結をさせると、エンジンの振動が伝わり、乗り心地に悪い影響を及ぼす。・当社はこの振動を取り除くことに優位性をもっている。この技術を高めることにより、より低速（省エネ状態）でのロックアップを可能にし、自動車の走行時における省エネ達成のコアの部品となっている。

Are these low-carbon product(s) or do they enable avoided emissions?

Avoided emissions

Taxonomy, project or methodology used to classify product(s) as low-carbon or to calculate avoided emissions

Other, please specify (顧客製品での総合的な低カーボン化のため、当社製品単品での評価を行っていない)

% revenue from low carbon product(s) in the reporting year

64

Comment

C5. Emissions methodology

C5.1

(C5.1) Provide your base year and base year emissions (Scopes 1 and 2).

Scope 1

Base year start

April 1 2017

Base year end

March 31 2018

Base year emissions (metric tons CO2e)

38290.65

Comment

Scope 2 (location-based)

Base year start

April 1 2017

Base year end

March 31 2018

Base year emissions (metric tons CO2e)

239730.38

Comment

Scope 2 (market-based)

Base year start

April 1 2017

Base year end

March 31 2018

Base year emissions (metric tons CO2e)

242731.26

Comment

C5.2

(C5.2) Select the name of the standard, protocol, or methodology you have used to collect activity data and calculate Scope 1 and Scope 2 emissions.

Act on the Rational Use of Energy

Japan Ministry of the Environment, Law Concerning the Promotion of the Measures to Cope with Global Warming, Superseded by Revision of the Act on Promotion of Global Warming Countermeasures (2005 Amendment)

The Greenhouse Gas Protocol: A Corporate Accounting and Reporting Standard (Revised Edition)

C6. Emissions data

C6.1

(C6.1) What were your organization's gross global Scope 1 emissions in metric tons CO2e?

Reporting year

Gross global Scope 1 emissions (metric tons CO2e)
36668.54

Start date
April 1 2018

End date
March 31 2019

Comment

C6.2

(C6.2) Describe your organization's approach to reporting Scope 2 emissions.

Row 1

Scope 2, location-based
We are reporting a Scope 2, location-based figure

Scope 2, market-based
We are reporting a Scope 2, market-based figure

Comment

C6.3

(C6.3) What were your organization's gross global Scope 2 emissions in metric tons CO2e?

Reporting year

Scope 2, location-based
239789.62

Scope 2, market-based (if applicable)
242842.6

Start date
April 1 2018

End date
March 31 2019

Comment

C6.4

(C6.4) Are there any sources (e.g. facilities, specific GHGs, activities, geographies, etc.) of Scope 1 and Scope 2 emissions that are within your selected reporting boundary which are not included in your disclosure?

Yes

C6.4a

(C6.4a) Provide details of the sources of Scope 1 and Scope 2 emissions that are within your selected reporting boundary which are not included in your disclosure.

Source

海外の営業所による電気使用量

Relevance of Scope 1 emissions from this source

No emissions from this source

Relevance of location-based Scope 2 emissions from this source

Emissions are relevant but not yet calculated

Relevance of market-based Scope 2 emissions from this source (if applicable)

Emissions are relevant but not yet calculated

Explain why this source is excluded

海外営業拠点のおおよその電気使用量に閉める割合は全体の0.013%と非常に小さく、また、報告対象月の単位では電力量が把握が困難のため

C6.5

(C6.5) Account for your organization's Scope 3 emissions, disclosing and explaining any exclusions.

Purchased goods and services

Evaluation status

Relevant, not yet calculated

Metric tonnes CO2e

<Not Applicable>

Emissions calculation methodology

<Not Applicable>

Percentage of emissions calculated using data obtained from suppliers or value chain partners

<Not Applicable>

Explanation

単体では算定済み。連結では算定中である

Capital goods

Evaluation status

Relevant, not yet calculated

Metric tonnes CO2e

<Not Applicable>

Emissions calculation methodology

<Not Applicable>

Percentage of emissions calculated using data obtained from suppliers or value chain partners

<Not Applicable>

Explanation

単体では算定済み。連結では算定中である

Fuel-and-energy-related activities (not included in Scope 1 or 2)

Evaluation status

Relevant, not yet calculated

Metric tonnes CO2e

<Not Applicable>

Emissions calculation methodology

<Not Applicable>

Percentage of emissions calculated using data obtained from suppliers or value chain partners

<Not Applicable>

Explanation

Upstream transportation and distribution

Evaluation status

Relevant, not yet calculated

Metric tonnes CO2e

<Not Applicable>

Emissions calculation methodology

<Not Applicable>

Percentage of emissions calculated using data obtained from suppliers or value chain partners

<Not Applicable>

Explanation

国内分は算定済み。海外拠点分が算定中である

Waste generated in operations

Evaluation status

Relevant, not yet calculated

Metric tonnes CO2e

<Not Applicable>

Emissions calculation methodology

<Not Applicable>

Percentage of emissions calculated using data obtained from suppliers or value chain partners

<Not Applicable>

Explanation

国内分は算定済み。海外拠点分が算定中である

Business travel

Evaluation status

Relevant, calculated

Metric tonnes CO2e

196.59

Emissions calculation methodology

出張に関しては、社有車で使用した燃料（ガソリン 84,675.02リットル）を元に算出した。

Percentage of emissions calculated using data obtained from suppliers or value chain partners

0

Explanation

Employee commuting

Evaluation status

Relevant, not yet calculated

Metric tonnes CO2e

<Not Applicable>

Emissions calculation methodology

<Not Applicable>

Percentage of emissions calculated using data obtained from suppliers or value chain partners

<Not Applicable>

Explanation

国内分は算定済み。海外拠点分が算定中である

Upstream leased assets

Evaluation status

Not relevant, explanation provided

Metric tonnes CO2e

<Not Applicable>

Emissions calculation methodology

<Not Applicable>

Percentage of emissions calculated using data obtained from suppliers or value chain partners

<Not Applicable>

Explanation

当社は製造業であり、該当するものがない

Downstream transportation and distribution

Evaluation status

Relevant, not yet calculated

Metric tonnes CO2e

<Not Applicable>

Emissions calculation methodology

<Not Applicable>

Percentage of emissions calculated using data obtained from suppliers or value chain partners

<Not Applicable>

Explanation

国内分は算定済み。海外拠点分が算定中である

Processing of sold products

Evaluation status

Not relevant, explanation provided

Metric tonnes CO2e

<Not Applicable>

Emissions calculation methodology

<Not Applicable>

Percentage of emissions calculated using data obtained from suppliers or value chain partners

<Not Applicable>

Explanation

当社は製造業であり、その部品は顧客においても組立のみで、加工される部品ではない。

Use of sold products

Evaluation status

Relevant, not yet calculated

Metric tonnes CO2e

<Not Applicable>

Emissions calculation methodology

<Not Applicable>

Percentage of emissions calculated using data obtained from suppliers or value chain partners

<Not Applicable>

Explanation

顧客製品（自動車）として、低燃費を達成するため、省エネルギーを達成させるための部品ではあるが、単独の寄与を出すことはできないため

End of life treatment of sold products

Evaluation status

Relevant, not yet calculated

Metric tonnes CO2e

<Not Applicable>

Emissions calculation methodology

<Not Applicable>

Percentage of emissions calculated using data obtained from suppliers or value chain partners

<Not Applicable>

Explanation

Downstream leased assets

Evaluation status

Not relevant, explanation provided

Metric tonnes CO2e

<Not Applicable>

Emissions calculation methodology

<Not Applicable>

Percentage of emissions calculated using data obtained from suppliers or value chain partners

<Not Applicable>

Explanation

原則設備等はリースでなく自社資産である

Franchises

Evaluation status

Not relevant, explanation provided

Metric tonnes CO2e

<Not Applicable>

Emissions calculation methodology

<Not Applicable>

Percentage of emissions calculated using data obtained from suppliers or value chain partners

<Not Applicable>

Explanation

フランチャイズはない

Investments

Evaluation status

Not relevant, explanation provided

Metric tonnes CO2e

<Not Applicable>

Emissions calculation methodology

<Not Applicable>

Percentage of emissions calculated using data obtained from suppliers or value chain partners

<Not Applicable>

Explanation

当社は製造業であり、該当するものがない

Other (upstream)

Evaluation status

Not relevant, explanation provided

Metric tonnes CO2e

<Not Applicable>

Emissions calculation methodology

<Not Applicable>

Percentage of emissions calculated using data obtained from suppliers or value chain partners

<Not Applicable>

Explanation

当社は製造業であり、該当するものがない

Other (downstream)

Evaluation status

Not relevant, explanation provided

Metric tonnes CO2e

<Not Applicable>

Emissions calculation methodology

<Not Applicable>

Percentage of emissions calculated using data obtained from suppliers or value chain partners

<Not Applicable>

Explanation

当社は製造業であり、該当するものがない

C6.7

(C6.7) Are carbon dioxide emissions from biologically sequestered carbon relevant to your organization?

No

C6.10

(C6.10) Describe your gross global combined Scope 1 and 2 emissions for the reporting year in metric tons CO2e per unit currency total revenue and provide any additional intensity metrics that are appropriate to your business operations.

Intensity figure

9.9

Metric numerator (Gross global combined Scope 1 and 2 emissions)

279511.14

Metric denominator

billion (currency) funds under management

Metric denominator: Unit total

282398000000

Scope 2 figure used

Market-based

% change from previous year

0.54

Direction of change

Decreased

Reason for change

省エネ活動の実施

C7. Emissions breakdowns

C7.1

(C7.1) Does your organization break down its Scope 1 emissions by greenhouse gas type?

No

C7.2

(C7.2) Break down your total gross global Scope 1 emissions by country/region.

Country/Region	Scope 1 emissions (metric tons CO2e)
United States of America	9431.68
China	3925.4
India	3006.65
Hungary	1243.19
Mexico	115.68
Thailand	2282.01
Indonesia	69.76
Viet Nam	350.61
Japan	16243.57
Malaysia	0

C7.3

(C7.3) Indicate which gross global Scope 1 emissions breakdowns you are able to provide.

By business division

C7.3a

(C7.3a) Break down your total gross global Scope 1 emissions by business division.

Business division	Scope 1 emissions (metric ton CO2e)
自動車向け部品(マニュアル製品)	8873.79
自動車向け部品(オートマチック製品)	23504.53
その他の事業	4290.22

C7.5

(C7.5) Break down your total gross global Scope 2 emissions by country/region.

Country/Region	Scope 2, location-based (metric tons CO2e)	Scope 2, market-based (metric tons CO2e)	Purchased and consumed electricity, heat, steam or cooling (MWh)	Purchased and consumed low-carbon electricity, heat, steam or cooling accounted in market-based approach (MWh)
United States of America	24651.02	24916.97	54059.24	0
China	45752.58	45752.58	69638.64	0
India	21898.24	21898.24	28402.39	1000
Hungary	1779.22	2242.66	6493.49	0
Mexico	6889.09	6889.09	14976.28	0
Thailand	22250.08	22250.08	43542.22	49131.94
Indonesia	4595.12	4595.12	6268.92	0
Malaysia	1571.27	1571.27	2287.15	0
Viet Nam	1591.68	1591.68	3316	0
Japan	108811.33	111134.92	219377.69	724063

C7.6

(C7.6) Indicate which gross global Scope 2 emissions breakdowns you are able to provide.

By business division

C7.6a

(C7.6a) Break down your total gross global Scope 2 emissions by business division.

Business division	Scope 2, location-based emissions (metric tons CO2e)	Scope 2, market-based emissions (metric tons CO2e)
自動車向け部品(マニュアル製品)	58029.09	58767.91
自動車向け部品(オートマチック製品)	153705.14	155662.11
その他の事業	28055.39	28412.58

C7.9

(C7.9) How do your gross global emissions (Scope 1 and 2 combined) for the reporting year compare to those of the previous reporting year?

Decreased

C7.9a

(C7.9a) Identify the reasons for any change in your gross global emissions (Scope 1 and 2 combined) and for each of them specify how your emissions compare to the previous year.

	Change in emissions (metric tons CO2e)	Direction of change	Emissions value (percentage)	Please explain calculation
Change in renewable energy consumption	17.34	Increased	4.51	2018年度 774.19MWH 2017年度 739.24MWH 増加量34.95MWh×2017年温対法における全国平均係数0.496t-CO2/千kWh
Other emissions reduction activities	0	No change	0	該当しない (主な変化は生産による変化のため、生産による変化に集約する)
Divestment	0	No change	0	該当しない
Acquisitions	0	No change	0	該当しない
Mergers	0	No change	0	該当しない
Change in output	1510.77	Decreased	0.54	2018年度総排出量279,511.14。2017年度総排出量281,021.91 t-CO2より算出。計算式は2018年度排出量/2017年度排出量-1
Change in methodology	0	No change	0	該当しない
Change in boundary	0	No change	0	バウンダリーの変化無し
Change in physical operating conditions	0	No change	0	該当しない
Unidentified	0	No change	0	該当しない
Other	0	No change	0	該当しない

C7.9b

(C7.9b) Are your emissions performance calculations in C7.9 and C7.9a based on a location-based Scope 2 emissions figure or a market-based Scope 2 emissions figure?

Market-based

C8. Energy

C8.1

(C8.1) What percentage of your total operational spend in the reporting year was on energy?

More than 0% but less than or equal to 5%

C8.2

(C8.2) Select which energy-related activities your organization has undertaken.

	Indicate whether your organization undertakes this energy-related activity
Consumption of fuel (excluding feedstocks)	Yes
Consumption of purchased or acquired electricity	Yes
Consumption of purchased or acquired heat	No
Consumption of purchased or acquired steam	No
Consumption of purchased or acquired cooling	No
Generation of electricity, heat, steam, or cooling	No

C8.2a

(C8.2a) Report your organization's energy consumption totals (excluding feedstocks) in MWh.

	Heating value	MWh from renewable sources	MWh from non-renewable sources	Total MWh
Consumption of fuel (excluding feedstock)	LHV (lower heating value)	0	183973.75	183973.75
Consumption of purchased or acquired electricity	<Not Applicable>	774.19	448362.01	449136.2
Consumption of purchased or acquired heat	<Not Applicable>	<Not Applicable>	<Not Applicable>	<Not Applicable>
Consumption of purchased or acquired steam	<Not Applicable>	<Not Applicable>	<Not Applicable>	<Not Applicable>
Consumption of purchased or acquired cooling	<Not Applicable>	<Not Applicable>	<Not Applicable>	<Not Applicable>
Consumption of self-generated non-fuel renewable energy	<Not Applicable>	<Not Applicable>	<Not Applicable>	<Not Applicable>
Total energy consumption	<Not Applicable>	774.19	632335.75	633109.95

C8.2b

(C8.2b) Select the applications of your organization's consumption of fuel.

	Indicate whether your organization undertakes this fuel application
Consumption of fuel for the generation of electricity	Yes
Consumption of fuel for the generation of heat	No
Consumption of fuel for the generation of steam	No
Consumption of fuel for the generation of cooling	No
Consumption of fuel for co-generation or tri-generation	Yes

C8.2c

(C8.2c) State how much fuel in MWh your organization has consumed (excluding feedstocks) by fuel type.

Fuels (excluding feedstocks)

Motor Gasoline

Heating value

LHV (lower heating value)

Total fuel MWh consumed by the organization

1168.56

MWh fuel consumed for self-generation of electricity

0

MWh fuel consumed for self-generation of heat

1168.56

MWh fuel consumed for self-generation of steam

<Not Applicable>

MWh fuel consumed for self-generation of cooling

<Not Applicable>

MWh fuel consumed for self-cogeneration or self-trigeneration

0

Comment

使用した指標 128.33kℓ 比重0.74t/kℓ LHV 44.3TJ/Gg (CDP technical note) 1TJ=277.778MWh

Fuels (excluding feedstocks)

Kerosene

Heating value

LHV (lower heating value)

Total fuel MWh consumed by the organization

6429.68

MWh fuel consumed for self-generation of electricity

0

MWh fuel consumed for self-generation of heat

6429.68

MWh fuel consumed for self-generation of steam

<Not Applicable>

MWh fuel consumed for self-generation of cooling

<Not Applicable>

MWh fuel consumed for self-cogeneration or self-trigeneration

0

Comment

使用した指標 656.48kℓ 比重0.805t/kℓ LHV 43.8TJ/Gg (CDP technical note) 1TJ=277.778MWh

Fuels (excluding feedstocks)

Diesel

Heating value

LHV (lower heating value)

Total fuel MWh consumed by the organization

9314.86

MWh fuel consumed for self-generation of electricity

804.99

MWh fuel consumed for self-generation of heat

8509.87

MWh fuel consumed for self-generation of steam

<Not Applicable>

MWh fuel consumed for self-generation of cooling

<Not Applicable>

MWh fuel consumed for self-cogeneration or self-trigeneration

0

Comment

使用した指標 933.95kℓ 比重0.835t/kℓ LHV 43TJ/Gg (CDP technical note) 1TJ=277.778MWh

Fuels (excluding feedstocks)

Crude Oil Heavy

Heating value

Unable to confirm heating value

Total fuel MWh consumed by the organization

1651.43

MWh fuel consumed for self-generation of electricity

0

MWh fuel consumed for self-generation of heat

1651.43

MWh fuel consumed for self-generation of steam

<Not Applicable>

MWh fuel consumed for self-generation of cooling

<Not Applicable>

MWh fuel consumed for self-cogeneration or self-trigeneration

0

Comment

A重油 使用した指標 152.05kℓ 比重0.866t/kℓ 39.1GJ/kℓ温室効果ガス排出量 算定・報告・公表制度<https://ghg-santeikohyo.env.go.jp/> 1TJ=277.778MWh

Fuels (excluding feedstocks)

Liquefied Petroleum Gas (LPG)

Heating value

Unable to confirm heating value

Total fuel MWh consumed by the organization

55521.86

MWh fuel consumed for self-generation of electricity

0

MWh fuel consumed for self-generation of heat

55521.86

MWh fuel consumed for self-generation of steam

<Not Applicable>

MWh fuel consumed for self-generation of cooling

<Not Applicable>

MWh fuel consumed for self-cogeneration or self-trigeneration

0

Comment

LPG 使用した指標 3934.62ト 比重1t 50.8GJ/t 温室効果ガス排出量 算定・報告・公表制度<https://ghg-santeikohyo.env.go.jp/> 1TJ=277.778MWh

Fuels (excluding feedstocks)

Other Petroleum Gas

Heating value

Unable to confirm heating value

Total fuel MWh consumed by the organization

2749.7

MWh fuel consumed for self-generation of electricity

0

MWh fuel consumed for self-generation of heat

2749.7

MWh fuel consumed for self-generation of steam

<Not Applicable>

MWh fuel consumed for self-generation of cooling

<Not Applicable>

MWh fuel consumed for self-cogeneration or self-trigeneration

0

Comment

都市ガス使用した指標 220.96千m3 比重1.9t/千m3 44.8GJ/MNm3温室効果ガス排出量 算定・報告・公表制度<https://ghg-santeikohyo.env.go.jp/> 1TJ=277.778MWh

Fuels (excluding feedstocks)

Liquefied Natural Gas (LNG)

Heating value

LHV (lower heating value)

Total fuel MWh consumed by the organization

107137.65

MWh fuel consumed for self-generation of electricity

0

MWh fuel consumed for self-generation of heat

98022.08

MWh fuel consumed for self-generation of steam

<Not Applicable>

MWh fuel consumed for self-generation of cooling

<Not Applicable>

MWh fuel consumed for self-cogeneration or self-trigeneration

9115.58

Comment

Natural Gas/LNG 使用した指標 11479.02千m3 比重0.7t/千m3 LHV 48TJ/Gg (CDP technical note) 1TJ=277.778MWh

C8.2d

(C8.2d) List the average emission factors of the fuels reported in C8.2c.

Crude Oil Heavy

Emission factor

2.70963

Unit

metric tons CO2 per Mg

Emission factor source

A重油2.70963t-CO2/t 温室効果ガス排出量 算定・報告・公表制度 <https://ghg-santeikohyo.env.go.jp/>

Comment

Diesel

Emission factor

2584.96

Unit

metric tons CO2 per liter

Emission factor source

軽油 Diesel2.58496333333333t-CO2/kl 温室効果ガス排出量 算定・報告・公表制度 <https://ghg-santeikohyo.env.go.jp/>

Comment

Kerosene

Emission factor

2489.48

Unit

metric tons CO2 per liter

Emission factor source

灯油 Kerosene2.48948333333333t-CO2/kl 温室効果ガス排出量 算定・報告・公表制度 <https://ghg-santeikohyo.env.go.jp/>

Comment

Liquefied Natural Gas (LNG)

Emission factor

2217.05

Unit

metric tons CO2 per m3

Emission factor source

天然ガス Natural Gas2.21705t-CO2/1,000Nm3 温室効果ガス排出量 算定・報告・公表制度 <https://ghg-santeikohyo.env.go.jp/>

Comment

Liquefied Petroleum Gas (LPG)

Emission factor

2.99889

Unit

metric tons CO2 per Mg

Emission factor source

液化石油ガス(LPG)2.99889333333333t-CO2/t 温室効果ガス排出量 算定・報告・公表制度 <https://ghg-santeikohyo.env.go.jp/>

Comment

Motor Gasoline

Emission factor

2321.66

Unit

metric tons CO2 per liter

Emission factor source

揮発油 Volatile oil2.32166t-CO2/kl 温室効果ガス排出量 算定・報告・公表制度 <https://ghg-santeikohyo.env.go.jp/>

Comment

Other Petroleum Gas

Emission factor

2234.03

Unit

metric tons CO2 per m3

Emission factor source

都市ガス City Gas2.2340266666667t-CO2/1,000Nm3 温室効果ガス排出量 算定・報告・公表制度 <https://ghg-santeikohyo.env.go.jp/>

Comment

C8.2f

(C8.2f) Provide details on the electricity, heat, steam and/or cooling amounts that were accounted for at a low-carbon emission factor in the market-based Scope 2 figure reported in C6.3.

Basis for applying a low-carbon emission factor

No purchases or generation of low-carbon electricity, heat, steam or cooling accounted with a low-carbon emission factor

Low-carbon technology type

<Not Applicable>

Region of consumption of low-carbon electricity, heat, steam or cooling

<Not Applicable>

MWh consumed associated with low-carbon electricity, heat, steam or cooling

<Not Applicable>

Emission factor (in units of metric tons CO2e per MWh)

<Not Applicable>

Comment

米国 0.470466006164t-CO2/千kWh 残余MIX(アメリカ) <https://www.greene.org/docs/energy/Residual%20Mix%202018.pdf> 中国 0.657t-CO2/千kWh インド 0.771t-CO2/千kWh
 ルカリア 0.34537t-CO2/千kWh 残余MIX(EU) <https://www.aib-net.org/facts/european-residual-mix> 韓国 0.46t-CO2/千kWh タイ 0.511t-CO2/千kWh インドネシア 0.733t-CO2/千kWh
 マレーシア 0.687t-CO2/千kWh ヲトク 0.48t-CO2/千kWh 日本 温室効果ガス排出量 算定・報告・公表制度 <https://ghg-santeikohyo.env.go.jp/> より 複数選択肢があるものは残余
 MIXを選択 北海道電力 0.678t-CO2/千kWh 東北電力 0.523t-CO2/千kWh 東京電力 0.462t-CO2/千kWh 中部電力 0.472t-CO2/千kWh 関西電力 0.418t-CO2/千kWh 中国電力
 0.677t-CO2/千kWh 中国、インド、メキシコ、タイ、インドネシア、マレーシア、ベトナムについては、IEA Emission from Fuel Combustion より Electricity CO2 Factor
 at Generationの2018年値を採用

C9. Additional metrics

C9.1

(C9.1) Provide any additional climate-related metrics relevant to your business.

C10. Verification

C10.1

(C10.1) Indicate the verification/assurance status that applies to your reported emissions.

	Verification/assurance status
Scope 1	No third-party verification or assurance
Scope 2 (location-based or market-based)	No third-party verification or assurance
Scope 3	No third-party verification or assurance

C10.2

(C10.2) Do you verify any climate-related information reported in your CDP disclosure other than the emissions figures reported in C6.1, C6.3, and C6.5?

No, but we are actively considering verifying within the next two years

C11. Carbon pricing

C11.1

(C11.1) Are any of your operations or activities regulated by a carbon pricing system (i.e. ETS, Cap & Trade or Carbon Tax)?

Yes

C11.1a

(C11.1a) Select the carbon pricing regulation(s) which impacts your operations.

Japan carbon tax

C11.1c

(C11.1c) Complete the following table for each of the tax systems in which you participate.

Japan carbon tax

Period start date

April 1 2018

Period end date

March 31 2019

% of emissions covered by tax

44.3

Total cost of tax paid

4694392

Comment

日本国内の燃料によるCO2排出量16,243.57t 289円/ t - CO2

C11.1d

(C11.1d) What is your strategy for complying with the systems in which you participate or anticipate participating?

日本炭素税に関しては、燃料消費の効率化を実施している。

他の動向については定期的な動向調査を実施して

C11.2

(C11.2) Has your organization originated or purchased any project-based carbon credits within the reporting period?

No

C11.3

(C11.3) Does your organization use an internal price on carbon?

No, but we anticipate doing so in the next two years

C12. Engagement

C12.1

(C12.1) Do you engage with your value chain on climate-related issues?

Yes, our suppliers

Yes, our customers

C12.1a

(C12.1a) Provide details of your climate-related supplier engagement strategy.

Type of engagement

Compliance & onboarding

Details of engagement

Included climate change in supplier selection / management mechanism

% of suppliers by number

100

% total procurement spend (direct and indirect)

100

% Scope 3 emissions as reported in C6.5

0

Rationale for the coverage of your engagement

当社では全協力企業に対して、グリーン調達ガイドラインを通して環境法令の順守、事業におけるCO2削減、サプライチェーンの管理によるバリューチェーン全体の環境負荷低減をお願いしている。新規にお取引を開始する際には、取引マニュアルに「グリーン調達ガイドライン」にご同意いただき、別途「環境マネジメントシステム調査表」にて管理状況を確認することが取引の条件と設定しているため、100%とする

Impact of engagement, including measures of success

定性的な影響ではある。定期的なセミナーの開催により啓蒙を量り、サプライチェーンにおけるナッジを行うことが主だった活動である。サプライヤーの理解度についてはセミナー開催時のアンケートにより把握している

Comment

C6.5で報告したスコープ3排出量に対する割合に関してはスコープ3の母数の算出ができていないため、ゼロとする。

C12.1b

(C12.1b) Give details of your climate-related engagement strategy with your customers.

Type of engagement

Education/information sharing

Details of engagement

Run an engagement campaign to education customers about your climate change performance and strategy

% of customers by number

21.74

% Scope 3 emissions as reported in C6.5

0

Please explain the rationale for selecting this group of customers and scope of engagement

所業なお取引様グループ23グループのうち7社5グループに対して、CDPを含め、CO2の排出量、LCAとして製品1台あたりのエネルギー、水、廃棄物等の使用量などの情報提供を実施している。顧客数に対する割合は5/23で算出を行った。

Impact of engagement, including measures of success

顧客におけるバリューチェーン全体のCO2削減および顧客によるScope3算出に寄与している。C6.5で報告したスコープ3排出量に対する割合に関してはスコープ3の母数の算出ができていないため、ゼロとする。

Type of engagement

Collaboration & innovation

Details of engagement

Run a campaign to encourage innovation to reduce climate change impacts

% of customers by number

88

% Scope 3 emissions as reported in C6.5

0

Please explain the rationale for selecting this group of customers and scope of engagement

当社の製品は全て、エネルギーをより効率的に伝達するかがキーとなる製品である。例えば自動車のエンジンではより燃費を良くするにはエンジンを低回転で動力伝達する必要があるが、その際に振動が激しくなる。当社の製品はこの振動を抑えて動力伝達することでエンジンを低エネルギーで回転することを助ける機能を備えている。より低回転域で対応できる製品開発を行い、顧客へ高効率駆動システムの提案を行っている

Impact of engagement, including measures of success

当社の製品による影響は主にガソリン、ディーゼルエンジン車の使用時のCO2削減に大きな影響を及ぼす。定量把握としては、顧客の寄与と当社の寄与を区別することが極めて困難であることから、SCOPE3を複数企業が重複して算出することを避けるため、C6.5で報告したスコープ3排出量に対する割合に関してはゼロと回答を行う。顧客数に対する割合に関しては2018年の売上連結売上高2,824億円のうち、特に寄与の大きな自動車向けの売上高の占める割合から88.00%と設定した

C12.3

(C12.3) Do you engage in activities that could either directly or indirectly influence public policy on climate-related issues through any of the following?

Trade associations

C12.3b

(C12.3b) Are you on the board of any trade associations or do you provide funding beyond membership?

No

C12.3f

(C12.3f) What processes do you have in place to ensure that all of your direct and indirect activities that influence policy are consistent with your overall climate change strategy?

当社は部品製造業であり、最終製品を原則的に取り扱わないことから、気候変動に伴う一般市民の評価が

製品の売上に与える影響は極小である業界となる。そのために、重要視する項目は、地域ごとの法令、顧客、業界団体の動向となっている。

自動車部品工業会の自主行動計画を当社の利害関係者のニーズと考え、定期的に気候変動戦略に係わる説明会に参加、HP等から情報の入手を行っている。

当社の削減計画は上位団体の自動車部品工業会の自主行動計画と省エネ法（地域ごとの条例を含む）を元に策定している

C12.4

(C12.4) Have you published information about your organization's response to climate change and GHG emissions performance for this reporting year in places other than in your CDP response? If so, please attach the publication(s).

Publication

In voluntary sustainability report

Status

Complete

Attach the document

2018web用環境パフォーマンス.pdf

Page/Section reference

P1,P2,P3

Content elements

Emissions figures

Emission targets

Other metrics

Comment

C14. Signoff

C-FI

(C-FI) Use this field to provide any additional information or context that you feel is relevant to your organization's response. Please note that this field is optional and is not scored.

C14.1

(C14.1) Provide details for the person that has signed off (approved) your CDP climate change response.

	Job title	Corresponding job category
Row 1	役職：全社環境統括責任者 1 . 位置づけ・取締役・環境保全活動推進の最高責任者	Director on board

SC. Supply chain module

SC0.0

(SC0.0) If you would like to do so, please provide a separate introduction to this module.

SC0.1

(SC0.1) What is your company's annual revenue for the stated reporting period?

	Annual Revenue
Row 1	282398000000

SC0.2

(SC0.2) Do you have an ISIN for your company that you would be willing to share with CDP?

No

SC1.1

(SC1.1) Allocate your emissions to your customers listed below according to the goods or services you have sold them in this reporting period.

Requesting member

General Motors Company

Scope of emissions

Scope 1

Allocation level

Company wide

Allocation level detail

<Not Applicable>

Emissions in metric tonnes of CO2e

1035.4

Uncertainty (±%)

10

Major sources of emissions

乾燥炉、暖房、RTO

Verified

No

Allocation method

Allocation based on the number of units purchased

Please explain how you have identified the GHG source, including major limitations to this process and assumptions made

Requesting member

General Motors Company

Scope of emissions

Scope 2

Allocation level

Company wide

Allocation level detail

<Not Applicable>

Emissions in metric tonnes of CO2e

6857.08

Uncertainty (±%)

10

Major sources of emissions

生産、空調、照明

Verified

No

Allocation method

Allocation based on the number of units purchased

Please explain how you have identified the GHG source, including major limitations to this process and assumptions made

Requesting member

General Motors Company

Scope of emissions

Scope 3

Allocation level

Company wide

Allocation level detail

<Not Applicable>

Emissions in metric tonnes of CO2e

5.55

Uncertainty (±%)

10

Major sources of emissions

社有車

Verified

No

Allocation method

Allocation based on the number of units purchased

Please explain how you have identified the GHG source, including major limitations to this process and assumptions made

Requesting member

Honda Europe

Scope of emissions

Scope 1

Allocation level

Company wide

Allocation level detail

<Not Applicable>

Emissions in metric tonnes of CO2e

68.17

Uncertainty (±%)

10

Major sources of emissions

乾燥炉、暖房、RTO

Verified

No

Allocation method

Allocation based on the number of units purchased

Please explain how you have identified the GHG source, including major limitations to this process and assumptions made

株式会社エクセディ Cate 1_算出なし Cate9_算出なし 株式会社ダイナックス Scope1=22.56t-CO2、Scope2 = 48.08 t - CO2 Cate 1_算出なし Cate9_算出なし

Requesting member

Honda Europe

Scope of emissions

Scope 2

Allocation level

Company wide

Allocation level detail

<Not Applicable>

Emissions in metric tonnes of CO2e

451.46

Uncertainty (±%)

10

Major sources of emissions

生産、空調、照明

Verified

No

Allocation method

Allocation based on the number of units purchased

Please explain how you have identified the GHG source, including major limitations to this process and assumptions made

株式会社エクセディ Cate 1_算出なし Cate9_算出なし 株式会社ダイナックス Scope1=22.56t-CO2、Scope2 = 48.08 t - CO2 Cate 1_算出なし Cate9_算出なし

Requesting member

Honda Motor Co., Ltd.

Scope of emissions

Scope 1

Allocation level

Company wide

Allocation level detail

<Not Applicable>

Emissions in metric tonnes of CO2e

190.36

Uncertainty (±%)

10

Major sources of emissions

乾燥炉、暖房、RTO

Verified

No

Allocation method

Allocation based on the number of units purchased

Please explain how you have identified the GHG source, including major limitations to this process and assumptions made

・昨年度の回答は御社グループ全体に対しての回答でした。 ・本年度の回答は御社グループのうち、日本国内の納入先の売上高による按分（説明会での確認による）株式会社エクセディ Cate 1_算出なし Cate9_算出なし 株式会社ダイナックス Scope1=63t-CO2、Scope2 = 134.26 t - CO2 Cate 1_算出なし Cate9_算出なし

Requesting member

Honda Motor Co., Ltd.

Scope of emissions

Scope 2

Allocation level

Company wide

Allocation level detail

<Not Applicable>

Emissions in metric tonnes of CO2e

1260.66

Uncertainty (±%)

10

Major sources of emissions

生産、空調、照明

Verified

No

Allocation method

Allocation based on the number of units purchased

Please explain how you have identified the GHG source, including major limitations to this process and assumptions made

・昨年度の回答は御社グループ全体に対しての回答でした。 ・本年度の回答は御社グループのうち、日本国内の納入先の売上高による按分（説明会での確認による）株式会社エクセディ Cate 1_算出なし Cate9_算出なし 株式会社ダイナックス Scope1=63t-CO2、Scope2 = 134.26 t - CO2 Cate 1_算出なし Cate9_算出なし

Requesting member

Honda North America, Inc.

Scope of emissions

Scope 1

Allocation level

Company wide

Allocation level detail

<Not Applicable>

Emissions in metric tonnes of CO2e

88.82

Uncertainty (±%)

10

Major sources of emissions

乾燥炉、暖房、RTO

Verified

No

Allocation method

Allocation based on the number of units purchased

Please explain how you have identified the GHG source, including major limitations to this process and assumptions made

株式会社エクセディ Cate 1_算出なし Cate9_算出なし 株式会社ダイナックス Scope1=29.39t-CO2、Scope2 = 62.64 t - CO2 Cate 1_算出なし Cate9_算出なし

Requesting member

Honda North America, Inc.

Scope of emissions

Scope 2

Allocation level

Company wide

Allocation level detail

<Not Applicable>

Emissions in metric tonnes of CO2e

588.19

Uncertainty (±%)

10

Major sources of emissions

生産、空調、照明

Verified

No

Allocation method

Allocation based on the number of units purchased

Please explain how you have identified the GHG source, including major limitations to this process and assumptions made

株式会社エクセディ Cate 1_算出なし Cate9_算出なし 株式会社ダイナックス Scope1=29.39t-CO2、Scope2 = 62.64 t - CO2 Cate 1_算出なし Cate9_算出なし

Requesting member

Nissan Motor Co., Ltd.

Scope of emissions

Scope 1

Allocation level

Company wide

Allocation level detail

<Not Applicable>

Emissions in metric tonnes of CO2e

7082.38

Uncertainty (±%)

10

Major sources of emissions

乾燥炉、暖房、RTO

Verified

No

Allocation method

Allocation based on the number of units purchased

Please explain how you have identified the GHG source, including major limitations to this process and assumptions made**Requesting member**

Nissan Motor Co., Ltd.

Scope of emissions

Scope 2

Allocation level

Company wide

Allocation level detail

<Not Applicable>

Emissions in metric tonnes of CO2e

46904.04

Uncertainty (±%)

10

Major sources of emissions

生産、空調、照明

Verified

No

Allocation method

Allocation based on the number of units purchased

Please explain how you have identified the GHG source, including major limitations to this process and assumptions made**Requesting member**

Nissan Motor Co., Ltd.

Scope of emissions

Scope 3

Allocation level

Company wide

Allocation level detail

<Not Applicable>

Emissions in metric tonnes of CO2e

37.97

Uncertainty (±%)

10

Major sources of emissions

社有車

Verified

No

Allocation method

Allocation based on the number of units purchased

Please explain how you have identified the GHG source, including major limitations to this process and assumptions made

SC1.2

(SC1.2) Where published information has been used in completing SC1.1, please provide a reference(s).

SC1.3

(SC1.3) What are the challenges in allocating emissions to different customers, and what would help you to overcome these challenges?

Allocation challenges

Please explain what would help you overcome these challenges

SC1.4

(SC1.4) Do you plan to develop your capabilities to allocate emissions to your customers in the future?

No

SC1.4b

(SC1.4b) Explain why you do not plan to develop capabilities to allocate emissions to your customers.

当社では同一のラインで複数の顧客向けの製品製造を行っており、特定の顧客に対して排出量を算出することは運用上非常にコストがかかる。現在のところ売上高比で回答する方針いる

SC2.1

(SC2.1) Please propose any mutually beneficial climate-related projects you could collaborate on with specific CDP Supply Chain members.

SC2.2

(SC2.2) Have requests or initiatives by CDP Supply Chain members prompted your organization to take organizational-level emissions reduction initiatives?

No

SC3.1

(SC3.1) Do you want to enroll in the 2019-2020 CDP Action Exchange initiative?

No

SC3.2

(SC3.2) Is your company a participating supplier in CDP's 2018-2019 Action Exchange initiative?

No

SC4.1

(SC4.1) Are you providing product level data for your organization's goods or services?

No, I am not providing data

Submit your response

In which language are you submitting your response?

Japanese

Please confirm how your response should be handled by CDP

	Public or Non-Public Submission	I am submitting to	Are you ready to submit the additional Supply Chain Questions?
I am submitting my response	Non-public	Investors Customers	Yes, submit Supply Chain Questions now

Please confirm below

I have read and accept the applicable Terms